

記者発表資料

ちよだいしおか ひがしたなか
「R3国道6号千代田石岡BP東田中高架橋下部工事」において
「見積活用方式」「余裕期間制度（フレックス）」を試行します。

工事発注において、予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予測される工事について不調不落対策を試行しております。

今回発注する「R3国道6号千代田石岡BP東田中高架橋下部工事」については、以下のとおり試行します。

①「見積活用方式」

本工事の地域において、実勢価格の変化が想定されるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証のうえ、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。見積を求める工種は、標準的な積算と乖離が予想される工種より選定しています。

②「余裕期間制度（フレックス）」

発注者が示した工事完了期限までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定できる「余裕期間制度（フレックス）」を採用します。

発表記者クラブ

茨城県政記者クラブ、竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会

お問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 常陸河川国道事務所
電話 029-240-4061 FAX 029-240-4081

副所長（道路） たかはし さとし
高橋 哲
かわむら ひであき
工務第二課長 川村 英明

《工事概要》

ちよだいしおか ひがしたなか

- (1) 工事名：R3国道6号千代田石岡BP東田中高架橋下部工事
- (2) 工事場所：茨城県石岡市東田中地先
- (3) 工期：契約締結の翌日から令和5年2月20日まで（予定）
- (4) 入札方式：一般競争入札総合評価落札方式（施工能力評価I型）
- (5) 工事種別：一般土木 C+B
- (6) 工事内容（概要）

作業土工1式、既製杭工（鋼管杭）30本、橋脚躯体工1基、仮設工1式

《見積活用方式について》

○見積の提出を求める工種

直接工事費のうち「既製杭工」

○見積を求める理由

本工事の地域において、実勢価格の変化が想定され、施工にあたって標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証のうえ、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

《余裕期間制度（フレックス）について》

受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、発注者が示した工事完了期限までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定できます。なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等を配置することを要しません。

《スケジュール》

- | | |
|-------------------|------------------|
| ○入札公告、入札説明書 交付 | ： 令和4年 2月 3日（木） |
| ○競争参加資格確認申請書の提出期限 | ： 令和4年 2月 18日（金） |
| ○入札書・工事費内訳書 提出期限 | ： 令和4年 3月 10日（木） |
| ○開札日 | ： 令和4年 3月 15日（火） |